



平成 28 年度 ナナーラ統括事業報告

平成 28 年度につきまして、当初計画通りの定員として生活介護（定員 30 名）、就労継続 B 型（定員 15 名）、自立訓練宿泊型（定員 20 名）短期入所（定員 10 名）の共同生活援助（12 名）総定員 87 名で運営をしています。期中、生活介護 5 名、就労継続 B 型と自立訓練宿泊型ともに新規利用者各 2 名 短期入所 10 名の方がそれぞれ十分な体験を経て新たに利用開始となりました。退所利用者につきましては、有期限満了の方で行く先が決まらず短期入所にて生活しています。又夜間等利用中での生活状況が不安定になり、医療関係者、福祉関係者間での調整の結果入院となりました。精神障害をお持ちの方で支援者間での継続した生活状況把握・情報共有を密にする必要性を改めて痛感し、今までの支援方法を振り返る機会となりました。

経営指針である障がい者重度でも「はたらく＝役割をもつ」をカタチにしますでは、生活介護の重点目標であった「笑顔咲くプロジェクト」において、4 組のプロジェクトが終了致しました。いずれも日帰りでの計画になりましたが、利用者・ご家族ニーズを十分にお聞きし、計画立案・実施までを無事に行う事ができ、ご家族やご利用者から心暖まるお礼のお手紙を頂き職員も更なる障がい者支援への励みとなり、3 月にはご家族にご協力頂き餅つき&写真展を開催出来ました。又当年 11 月の行事では、ナナーラ開始年度以来のディズニーランドへも、ご家族のご協力を頂き無事終了することができました。障がい者ゆえに家族だけでは行くことが困難な方、また若い利用者が多く在籍する中では、このディズニーランドはまさに夢の国のようです。

期中、経営指針である人材確保と人材育成につきましても、介護福祉士の資格取得に向けた勉強会へ、法人のバックアップを頂き参加するなど研鑽に努めています。この取り組みについては重度化する障がいのある方への支援技法の習得として事業所としても最善の協力をしたいと考えます。また障がい者雇用の推進にあたり、短期トレーニング事業を活用し精神障がいのある方の雇用前提の実習を受入れ、障がいがあるなしに関わらず、誰もが働ける職場作りを推進するナナーラとして 3 月中に雇用契約を締結致しました。

資金収支状況の事業活動収入は平均 112%（18,222 千円）の増収になっており、今年度の経営指針である 4% を優に達成できました。尚支出面については事業費対前年 15.4%（3,526 千円）の増加、事務費対前年比 19.4%（4,433 千円）の増加、人件費においては 2.6 人の増加で期中 19.8%（17,084 千円）の増加となっております。今年度、共同生活援助の県の監査が入り色々なアドバイスを頂き今後の支援に繋がりたいと考えております。来期について緊急ショートやご家庭のニーズに沿えるよう短期入所事業の自立訓練宿泊型の空床利用を申請していきたいと考えております。

又、ナナーラ地域支援部では、一般就労している自立訓練宿泊型のご利用者で有期限の方のグループホームのサテライト型へお一人方が移られており生活する力を着けて行ける様支援して参ります。来年以降二人目・三人目とサテライト型への事業展開をして参ります。